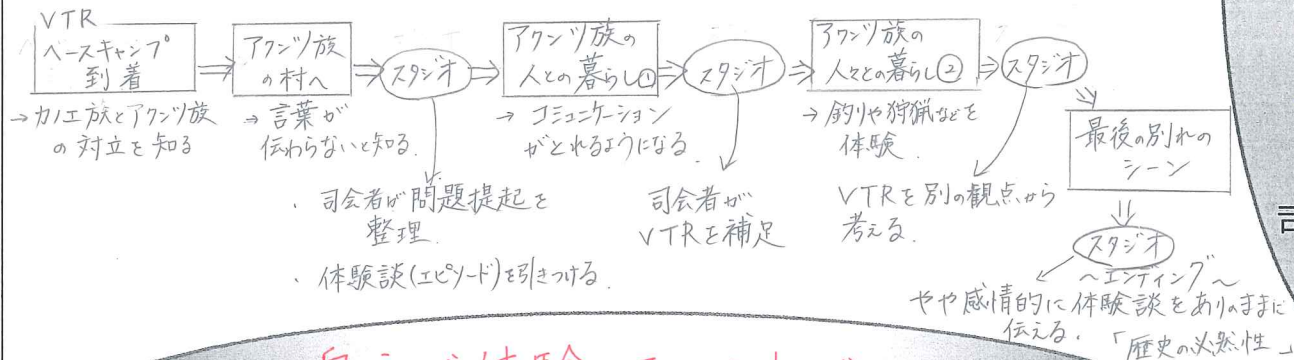


番組の特徴的場面

家の中に作ってくれたハンモック  
→ コミュニケーションがとれて友好の関係の象徴

○ カイエ族とアクンツ族の関係について  
~ カイエ族とアクンツ族は和解できるのか ~

○ 試練  
しきたり、習慣が不明、言葉が伝わらない  
↓  
紙・ペンを使い、意味を理解  
ボディ・ランゲージを用いてコミュニケーションをはかる。



自らが体験していく中で  
課題や試練を解決・克服していく

○ 「生きる力」を育み、地域の中で大切な一員であるということを自覚させる。  
・ 実際に大人が働く世界がどういふものかを直接的に感じ取り、世界を認識すること。(課題)

↓  
自ら職場を訪れ、5日間活動することによって、自分で理解していく。  
\* 農林水産体験活動

・ 販売作業や水揚げなどの実際の活動により、自ら、仕事する世界というものを学び取っていく  
・ 以後の自分の行動や考えをより豊かなものにしていく

授業のヤマ場

生徒の意識が  
変わる瞬間

○ 教師の役割  
= 無  
(自ら成長するように見守る立場  
あまり介入しない)

「交流と成長」

テーマ

参加者の試練

試練の克服

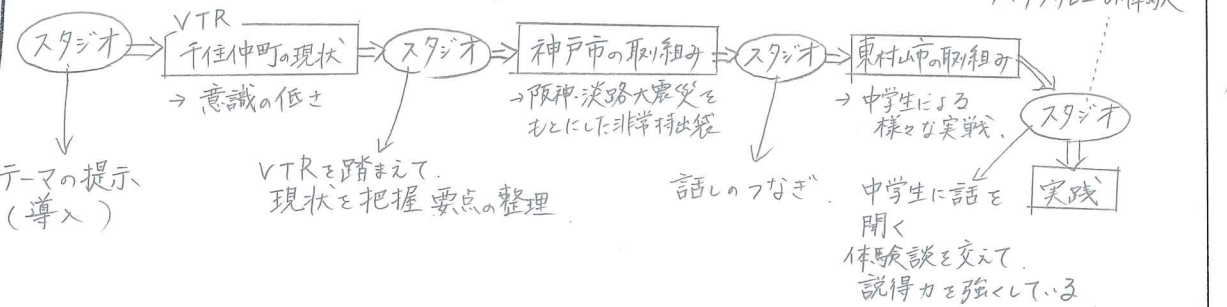
番組展開

司会者の役割

○ 大地震 避難の極意  
~ どうすれば地震に強い町を作れるのか ~

○ 試練  
・ 地震危険度ランキング最悪  
・ 住民の意識の低さ(特に若年層)  
・ 非常時の持出品の不備

↓  
ゲスト・ティーチャーによる3つの妙案提示



集団で共通する問題を  
解決していく

○ 大久保・西郷の考えから  
明治政府の目指した国家を考えよう。

(課題) 大久保と西郷は協力して明治維新を行ったが、なぜ西郷は政府を辞めたのか。

↓  
複数の資料を提示し、比較・考察して解決していく。  
また、生徒をゆさぶるような発問を準備していく。

(過程)  
既習事項の振り返り  
↓  
大久保・西郷の考えを考察 ← 資料の提示  
・ グループワークの実施、ワークシートの活用  
↓  
理解したうえで、新聞の社説を考え、自らの意見で表現

(教師)  
・ 意見が出てくるように支援  
・ 話し合いの促進

学力・目標

学習課題

課題の解決

学習過程

教師の役割

授業のヤマ場

「大久保と西郷は  
本当に対立していたのだろうか？」

番組の特徴的場面

妙案の決定  
→ 中学校へ直訴し、すぐに実践を行う